

令和8年2月6日（金） 14:00～16:00

令和7年度 第3回横山小学校運営協議会

【学校教育目標】 ふるさとを愛し、夢や未来に向かって 挑戦する子供
【目指す子供像】 本年度の重点～10の取り組みを通して、目指す子供の姿～
「自他を大切にする子」「ねばり強く取り組む子」「主体的に行動する子」
【10の取組】 ①自立した学習習慣の定着 ②実生活・実社会とつながる学びの推進
③ICTを有効に活用した授業改善 ④体験・交流活動充実
⑤道徳・人権教育の推進 ⑥「心の輪 挨拶運動」の活性化
⑦安全教育の充実 ⑧健康教育の充実
⑨運動技能と体力の向上の取組 ⑩横山小キャリア教育の推進

参照：P4 グランドデザイン

～ 次第 ～

1 開催要件（過半数の出席）確認 14:00

2 会長挨拶

3 校長挨拶

4 議長の選出（出席した委員の中から互選）

5 前回会議録確認 ※11/6（木）にお集まりいただいた会の様子

6 熟議 14:15

（1）学校関係者評価について（教務主任）

※「学校いじめ防止基本方針」に基づく取組状況や目標達成状況を含む（教頭）

（2）次年度の学校経営の基本方針について（校長）

（3）学校運営協議会の自己評価について（教頭）

7 報告 15:30

（1）夢育やらまいか事業（CS 加算分）について（教頭）

（2）図書室・郷土資料室ボランティアについて（市川）

（3）コミ・スクだより（沖）

（4）「ちいさな親切」運動 あいさつ運動協力校の取組（2年目）について（教頭）

8 連絡 15:40

（1）浜松市教育委員会 学校・地域連携課より 地域連携グループ 加藤 大輔 様

（2）次年度の学校運営協議会委員について（教頭）

（3）学校協議会委員研修（オンライン）の御案内 ※参照 P25 開催通知

2/25（水）14:00～15:30 横山小 3階 多目的教室

（4）卒業式の御案内 令和8年3月17日（火）午前9時（会式前にスライド上映）

※出欠について、期日までに回答をお願いします。

（5）来年度 運動会 令和8年4月25日（土）午前8時40分オープニング予定
予備日なし（雨天：体育館実施）

（6）次回（2月4日現在）

開催日時：令和8年5月14日（木）13:45～15:45（授業参観を含む）

熟議内容：学校経営の基本方針について など

令和 7 年度 横山小学校運営協議会名簿 (II 期 1 年目)

※敬称略

		氏名	備考
1	委員	青山 敏郎	人権擁護委員、元校長
2	委員	溝口 玄	竜川ふれあいセンター活動推進委員会委員長、元校長
3	委員	内野 永士	竜川連合自治会長
4	委員	森口紋太郎	龍山自治会連合会長
5	委員	今場 嘉寿	元横山小 P T A 会長
6	委員	長田テツ子	元体育指導員
7	委員	田中 綾	R4 P T A 会長代理、元竜川幼 P T A 会長
8	委員	太田亜希子	学校支援コーディネーター、保護者代表、元竜川幼 P T A 会長
9	委員	棚橋 巧	R7 P T A 会長
オボザーバー	鈴木 孝	竜川ふれあいセンター所長	
オボザーバー	藤澤 典広	浜松市龍山支所長	
オボザーバー	坂井 久司	龍山民生委員、児童委員協議会会長	
オボザーバー	森下 智子	竜川主任児童委員	
オボザーバー	藤原二三美	龍山主任児童委員	
	長坂麻里子	校長	
	川村 雄司	教頭	
	遠見石範子	教務主任、コミュニティ・スクール担当、3・4年担任	
	沖 みどり	C S ディレクター	
	市川 有佳	学校支援コーディネーター、図書館補助員、理科支援員	

令和 8 年度 横山小学校運営協議会 年間開催計画 (2 月 4 日現在)

※会場は、校舎 3 階 多目的教室 (C S ルーム)

回	日時	備考
第 1 回	令和 8 年 5 月 14 日 (木) 14:00~16:00	授業参観
第 2 回	令和 8 年 6 月 25 日 (木) 9:45~11:45	授業参観、教職員参加
第 3 回	令和 8 年 10 月 6 日 (火) 14:00~16:00	授業参観
第 4 回	令和 9 年 2 月 2 日 (火) 14:00~16:00	学校関係者評価、自己評価

令和7年度 横山小学校運営協議会

※ 非公式(出席委員過半数の開催要件を満たさず)

- 場 所 横山小学校 3階多目的教室
- 出 席 委員：青山 敏郎、内野 永土、太田 亜希子、棚橋 巧
オブザーバー：鈴木 孝(竜川ふれあいセンター所長)、
藤澤 典広(浜松市龍山支所長)、坂井 久司(龍山民生委員)、
森下 智子(竜川主任児童委員)、藤原 二三美(龍山主任児童委員)
学校支援コーディネーター：市川 有佳
学校：長坂 麻里子(校長)、川村 雄司(教頭)、遠見石 範子(CS担当)、
沖 みどり(CSディレクター)
- 議 長 棚橋 巧

14:10 ~ 14:30 授業参観

熟 議

- (1) 前期学校評価の結果とこれまでの取組について → 川村教頭より説明
(2) 全国学力・学習状況調査の結果と学びの推進について → 川村教頭より説明
〈内野委員〉本を読まない子供が増えていると聞く、横山小学校ではどう指導しているのか?
〈長坂校長〉図書に関するいろいろな企画を考え、子供たちの興味を引くよう努力している。
〈森下オブザーバー〉祖父母のいる家庭が多いため、朝食を食べる習慣が付いていると思っていたが、実際の横山小の子供たちはどう?
〈長坂校長〉決まった時間に起床すれば、しっかり食べることはできている。
〈青山会長〉授業参観をして、生活の中にある物を用い、実際に体を使って考え、学びに結び付けていく。将来的にも体と頭に刻まれる、とても良い授業であると思った。また、印象的なのは、教科担任の字がとてもきれいであったこと。
「学力調査」の結果に関しては、数値では読み取れないことであると思っている。
一人一人個性の違う子供たちに、それぞれの対応をして伸ばしてあげてほしい。
- (3) 学校教育目標、目指す子供像を具現するために、来年度も見通しながら、少人数児童での学校行事や学校生活の場面に関して地域でできること
→ 第2回協議会で熟議された内容について、さらに視点を広げたり深めたりしてグループワークを行った。

○ オブザーバーより

- 〈森下オブザーバー〉算数の授業にもかかわらず、物や体を使って興味をそそり、考える力を引き出すような授業に感心した。
〈坂井オブザーバー〉体感しながら勉強することは大事だと思った。自然や生活の中で、いろいろな物に興味を持ち、学びに結び付けられたらいいと思う。

令和7年度 横山小学校

グランドデザイン

校訓

みんな仲よく
自分から
力いっぱい

学校教育目標

ふるさとを愛し、夢や未来に向かって 挑戦する子供

コミュニティ・スクール＝地域とともにある学校

家庭：保護者・家族、PTA活動

○やすらぎ・しつけ・見届けの場所

学校：全職員

- 伴走者として、支援する職員
- 協働し、学び続ける職員
- 人権を尊重する言動がとれる職員

みんなでつくるみんなの
横山小学校

児童

地域：学校運営協議会・各種団体・コミュニティ

○学び・交流・貢献の場所



重点目標と
10の取組
(P:計画, D:実行)

⑩ 横山小キャリ
ア教育の推進

自他を大切にする子

ねばり強く取り組む子

主体的に行動する子

仲間・自分

解決

夢

人間関係形成・社会形成能力

自己理解・自己管理能力

課題対応能力

キャリアプランニング能力

たつ子わくわくチャレンジ（特活、総合的な学習の時間、教科）を核として

評価 (C:振返り
A:改善)

- ① 自立した学習習慣の定着
- ② 実生活・実社会とつながる学びの推進
- ③ ICTを有効に活用した授業改善

- ④ 体験・交流活動の充実
- ⑤ 道徳・人権教育の推進
- ⑥ 「心の輪 挨拶運動」の活性化

- ⑦ 安全教育の充実
- ⑧ 健康教育の充実
- ⑨ 運動技能と体力の向上の取組み

横山小学校についてのアンケート(集計:12月)				評価(とてもそう思う・そう思う%)			
No.	項目	質問事項	児童(%)	保護者(%)	職員(%)	学校運営協議会(%)	
1	学習	学習習慣(学びに向かう姿勢・準備や片付け・学習方法の選択・家庭学習)が身についている。	67	50	67	100	
2		学習したことが、生活や社会と結びつき、役立っている。または、将来、役に立つと実感できている。	100	67	75	75	
3		学習方法の手段の一つとして、タブレット端末を活用することができている。	89	67	100	100	
4	生活	体験や交流を通して、様々な人と楽しく活動することができている。	100	100	100	100	
5		自分や周りの人の考え方や気持ちを大切にし、尊重する気持ちをもって生活することができている。(情報モラルを含む)	100	100	100	100	
6		心のこもったあいさつや声掛けをしている。	100	100	100	100	
7	健康	自分や周りの人の安全について考えて、安全に行動することができている。	89	100	100	100	
8		生活習慣や食生活に关心をもち、自分の健康に気を付けて生活をしている。	89	84	50	75	
9		運動技能や体力の向上を目指し、目標をもって運動に取り組んでいる。	100	84	100	75	
10	キャリア教育	自分や周りの地域の人・もの・ことのよさが分かり、大切にすることができる。【仲間・自分】	100	100	100	100	
11		課題の解決や目標の達成に向かって、粘り強く取り組むことができている。【解決】	100	84	50	50	
12		夢や未来の自分や地域の姿を思い描き、今できることを考えて、自分から行動することができている。【夢】	78	67	100	100	
13	学校経営	学校は、一人一人のよさ(自分らしさ)を認め、大切にしている。	100	67	100	100	
14		学校は、困ったことがあったときに、安心して相談できる環境を整えている。	89	67	100	100	
15		学校は、「横山小学校いじめ防止基本方針」のもと、適切な対応や取り組みをしている。	100	100	100	100	
16		学校は、保護者や地域と必要な情報を共有できている。		67	100	100	
17	教師として	伴走者として、児童の学習や生活に適切な支援を心掛けている。			100		
18		学校内外を問わず、主体的に学ぶ意欲と共に学ぶ姿勢をもって研修に努めている。			100		
20		誰に対しても人権を尊重した言動を心掛けている。			100		

学校評価より

1 自他を大切にする子「仲間とつながり、自分を高めよう」

【キャリア:仲間・自分】(人間関係形成・社会形成能力)(自己理解・自己管理能力)

＜成果＞

○決められた場での挨拶が進んでできる。

○地域を知り、地域に学ぶ活動を多く設定することで、ふるさとを大切にする気持ちを全児童がもっている。

＜課題と方策＞

●相手にとって気持ちの良い挨拶についてさらに考えさせたい。「笑顔で目を合わせること」を継続して声掛けしていきたい。あいさつプラス気付いたことを言葉にすることを勧めることで、お互いに助け合い、補い合える子にしたい。

●4人だからこそできることを考え、個人・学校・地域の夢や未来を描き、課題を設定し、計画・実行・発信する場を設定していきたい。

2 ねばり強く取り組む子「問題を解決しよう」

【キャリア:解決】(課題対応能力)

＜成果＞

○授業の毎時間の見通し、単元全体の見通し、身に付けたい力を子供と共有して授業を進めることで、教師も児童も見通しをもって学習を進めることができた。

○学習集団の人数に合わせて、教師対児童、児童同士の学び合い、全体での話合いなど、より効果的な話し合い・学び合いができるような手立てを工夫することができた。

○個々の実態に応じた支援を行うことで、前向きに自信をもって学習する様子が見られるようになってきた。

○毎時間、身に付けたい力を子供と共有して授業を進めることで、見通しをもって学習を進めることができた。

＜課題と方策＞

●子供同士で話し合い、学び合う形態がまだできているとは言えないため、4人の児童でも学びが深まる手立てを研修していく。

●まだまだ教師を頼ってしまい、まず一人で考えてみようとする姿勢が身に付いていないため、どの場面で教師が支援するか、どの場面をじっくり一人で考える時間にするのかを明確にし、教師が共通理解のもと進めていく。

●家庭学習に進んで取り組めない子がいたり、「学年×10分」の学習時間が定着していない子がいたりするため、「自分に必要なものを、自分で決めて考え、自分の生活に合わせて」進めることができるよう、個々にあった家庭学習を一緒に考え、学習習慣を身に付けていきたい。

●タイピングの技能をさらに向上させるため、昼活動に「タイピング」の時間を位置付けていく。

3 主体的に行動する子「夢に近づこう」

【キャリア:夢】(キャリアプランニング能力)

＜成果＞

- 委員会活動を中心に、創意工夫を生かした活動を進め、ステップアップ作戦会議(委員長会)で活動の擦り合わせやプラスシュアップを図ることで、「自分から」進んで活動する場面が多くみられるようになった。
- 学習カードを活用し、その子に合った目標を立てることで、運動に進んで取り組むことができた。
- 少人数だからこそ運動時間を多く確保できることを生かし、体育の授業の内容を工夫することができた。
- 「ハッピー健康の日」の保健指導や、元気チェックを通して、自分の健康課題を意識する子が増え、蓄積したデータから、自分の健康への関心を高め、傾向を知つて自身の健康維持に生かそうとする気持ちが高まっている。

＜課題と方策＞

- 4人でできる体育での学習内容が限られてくるため、年間計画の洗い出しを行う。個人の技能を高める運動を考えたり、連合教育(光明小授業体験)を効果的に生かしたりするようにする。
- 就寝時刻が遅い、朝食を食べないなど、自分の健康課題の改善までには至っていないため、保護者の協力も得ながら、良い生活習慣作りを促していく。

4 【総括】

＜成果＞

- 1年間を総じて、子供たちは、目標に向かって様々な活動に取り組み、成長を目指してがんばっている様子が見られた。
- 学校全体の傾向も見るが、今年度は特に、成長と課題、それに対する支援を学期ごとに個々に見ていくことができた。
- いじめ防止基本方針や学校の決まりについて、児童、保護者、学校運営協議会に説明し、意見を求めたり、校内で見直したりしながら、いじめ防止の取組みを進めることができた。個々に抱えている悩みを保護者と連携して支援することで、どの子も、心と体が健康で、楽しく学校に通うことができた。

＜課題と方策＞

- 「ねばり強く」「主体的に」取り組む姿がもっと見られるとよい。授業や家庭学習への取り組み、行事に向かう目標、運動面などいろいろな場面で、横山小学校の重点目標(キャリア教育の目標)を意識できるように工夫する。
- 個々の成長や課題、支援について、保護者とさらに共通理解を図り、同一歩調で進めていきたい。

【令和8年度 行事予定について】 **※2/6現在の予定です** **今後変更することもあります**

1学期 4月 7日(火)～ 7月17日(金)(70日間)
2学期 9月 1日(火)～12月22日(火)(75日間)
3学期 1月 7日(木)～ 3月19日(金)(49日間) 卒業式3月19日(金)
194日間

○参観会・懇談会など

第1回… 5月21日(木) 参観会・保護者説明会 ※引渡訓練は4／7(火)
第2回… 6月8日(月)～12日(金) 学校公開週間
第3回… 9月28日(月)～10月2日(金) 学校公開週間
第4回… 11月30日(月)あたり 学校保健委員会・参観会・説明会・懇談会

○運動会

4月25日(土)午前中 予備日なし 雨天体育館で実施

○修学旅行(6年)

10月15日(木)～16日(金) 東京方面

○個別面談

夏季… 7月23日(木) (夏休み中)
冬季… 12月 9日(水)
※都合がつかない場合は、別日に実施

R8. 横山小日課表(案)

	月	火	水	木	金
8:00~8:10			健康観察・朝の会		
8:10~8:55			1校時		
8:55~9:00		休み時間(5分)			
9:00~9:45		2校時			
9:45~9:50		休み時間(5分)			
9:50~10:35		3校時			
10:35~10:45		休み時間(10分)			
10:45~11:30		4校時			
11:30~11:35		休み時間(5分)			
11:35~12:20	5校時	5校時			
12:20~13:05	給食				
	※5校時授業昼休みなし 13:20下校				
13:05~13:35	昼休み				
(13:30~昼活動の準備)					
13:35~13:50	読書	学習(タイピング)	学級	清掃	集会等(読書)
13:55~14:40	6校時		帰りのしたく・帰りの会 ※14:10下校	6校時	
14:45~14:55	帰りのしたく・帰りの会			帰りのしたく・帰りの会	
	※15:00下校			※15:00下校	
			打合せ ミニ生徒指導 いじめ対策 会議 研修 14:25~ 16:00		
◆登校 7:40~7:50 ◆登校タクシー着 7:40頃	◆下校・下校タクシー 5時間昼休みなし 13:20 5時間昼休みあり 14:10 6時間 15:00				

2 いじめの防止等に関する取組【振り返り】

071125 いじめ対策委員会③

(1)横山小年間指導計画

◆教職員 児童生徒 保護者・地域

◎ : 実施

1学期 振り返り 7/22		2学期 振り返り 11/25		3学期	
月	活動内容	月	活動内容	月	活動内容
4	<p>◎◆いじめ対策委員会① ・基本方針・組織の確認 ・児童理解 □○始業式・入学式 ◎・基本方針の説明 □授業開き ・人間関係作り(GE) ・1年間のめあて(CP) ○参観会・懇談会、PTA 総会、地域・自宅確認、 学校運営協議会 ◎・基本方針の説明 ◎□学活(学級目標の設定) ◎□委員会活動開始</p>	夏季 休業	<p>◎◆○個別面談(CP) ◎◆校内研修・いじめ対策 委員会③ ・児童理解 ・いじめ未然防止、早期 発見のための研修 ・基本方針、横山小の約 束の見直し 等 ◆幼小中合同研修</p>	1	<p>□3学期授業開き ・3学期のめあて(CP) □なわとび集会</p>
5	<p>◎◆□生活アンケート ◎□遠足 ◎□○運動会</p>	9	<p>◎□2学期授業開き ・2学期のめあて(CP) ・人間関係作り(GE) ・はままつマナー ◎□ボート体験</p>	2	<p>○参観会・懇談会 保護者説明会、学校運営 協議会 ・学校評価公開 □生活アンケート ◆いじめ対策委員会⑤ □6年生を送る会 □地域の方に感謝を伝える 活動等の実施</p>
6	<p>◎◆□いじめや命について 考える週間 ・全校道徳(生命尊重) ・人権教室 ○参観会・懇談会・学校運 営協議会 ○□浜松いじめアンケート ◎◆いじめ対策委員会②</p>	10	<p>◎◆□生活アンケート ○□臨海学校 ◆校内研修 ◎・教育相談、カウンセリ ングマインド(SC)</p>	3	<p>◆次年度への申し送り事項 の確認 ○こ保幼小連絡協議会 小中連絡協議会 □学活 ・年間の振り返り(CP) □修了式 □卒業式</p>
7	<p>○□クラブ活動 □学活(1学期の振り り(CP)) ◎◆□終業式 ・夏休みの過ごし方</p>	11	<p>◎◆○学校運営協議会 ○□修学旅行・校外行事 □道徳(相互理解・寛容) ○□浜松いじめアンケート ◎◆いじめ対策委員会④ ○○参観会・懇談会・学校 運営協議会</p>		
		12	<p>□学活 ◎・2学期の振り返り(CP) ◎◆○個別面談(CP) ◎◆□終業式 ・冬休みの過ごし方</p>		

※GE : 構成的グループエンカウンター ※CP : キャリア・パスポート

年間

- ◎・道徳の授業における(友情・信頼)(公正・公平)(感謝)等の指導を行う。
・はままつマナーを使った指導を行う。
- ◎・SNSノートなどを活用した情報モラルの指導を行う。
- ◎・横山小の約束について、学校生活を送る中で児童とともに随時見直す。
- ◎・朝の会や帰りの会で、「よいこと見つけ」「今日のヒーロー」等の取組を行う。
・会議等のない月曜日放課後は教育相談日とし、保護者、児童が気軽に相談を行える時間を確保し、周知する。
- ◎・SCと予定を調整して、年1回以上SCと児童の個別面談を行う。

いじめ問題への取組についての改善報告書

学校コード 5120087 学校名 横山小学校
校長名 長坂 麻里子

1 いじめ問題への取組について課題及び見直しが必要となった点や今後に向けての改善点

(1) アンケートより(集約)

- ・「早く丁寧な説明」が保護者の立場により沿ったものになっているかを忘れないこと。
- ・基本方針を伝える場の他に、保護者と共にいじめ問題を協議する場は必要か。
- ・生活アンケート、はままついじめアンケートの結果の共有(生徒指導委員会・いじめ対策委員会)と面談をよりタイムリーに実施できる年間計画を検討する。
- ・来年度児童数が4名もあり、場合により様々な教員で話を聞くなどの対応をし、誰かに話せる(話しやすい)環境を作る。
- ・生活アンケート、はままついじめアンケート、SC面談などで早期発見に努められている。毎朝のL-Gateによる健康チェックや心の天気などによる対応も心掛けていきたい。
- ・毎週のミニ委員会などでも、子供の小さな変化を共有できたので継続したい。

(2) 見直し・改善の視点

- ①アンケートやその後の面談、委員会のより効果的、実効的な実施
(アンケート後の共有で確認すべき内容、年間計画への位置付け、面談時間の確保など)
- ②いじめ問題について、保護者や地域との連携をより深めるにはどうしたらよいか。
- ③児童の日々の様子や変化をつかむためのミニ委員会や心の天気などの工夫

2 「学校いじめ防止基本方針」の見直し内容

見直した内容がある

見直し内容及び理由 ※ない場合には記入不要

⇒ 今後、教育課程、生徒指導・いじめ対策を通して、最終的に見直した内容を記入します。

T-portの文書交換にてご提出ください

校訓
みんな仲よく
自分から
力いっぱい

学校教育目標

ふるさとを愛し、夢や未来に向かって 挑戦する子供

- 伴走者として、支援する職員
- 協働し、学び続ける職員
- 人権を尊重する言動がとれる職員

学校:全職員

家庭:保護者・家族、PTA活動

○やすらぎ・しつけ・見届けの場所

コミュニティ・スクール=地域とともにある学校

自分らしさ

安全・安心

○地域の宝である竜川・龍山の子供たちの健全な育成に努め、学校教育の支援及び地域の文化向上に寄与する（育てる会会則より）

地域:学校運営協議会・
各種団体・コミュニティ

○学び・交流・貢献の場所

重点目標と10の取組

自他を大切にする子

ねばい強く取り組む子

主体的に行動する子

＜学びぐんぐんプロジェクト＞

- ① 自立した学習習慣の定着
- ② 実生活・実社会とつながる学びの推進
- ③ ICTを有効に活用した授業改善

＜心ぽかぽかプロジェクト＞

- ④ 体験・交流活動の充実
- ⑤ 道徳・人権教育の推進
- ⑥ 「心の輪 挨拶運動」の活性化

＜心身はつらつプロジェクト＞

- ⑦ 安全教育の充実
- ⑧ 健康教育の充実
- ⑨ 運動技能と体力の向上の取組み

⑩ キャリア
教育の推進

仲間・自分

解決

夢

たつ子わくわくチャレンジ（特活、総合的な学習の時間、教科）を核として

(様式2) ※ 委員の意見を基に、「協議会としての評価」にまとめます。

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

＜本年度の目標＞

- 過疎化・少子高齢化が進む地域の小規模校において、子供、学校のために、地域が学校支援として何ができるのか熟議する。
- 地域に学ぶ活動における支援のあり方について熟議する。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア:よくできた(3) イ:できた(3) ウ:あまりできなかった(1) エ:できなかった(0)
(理由)

- ・第1回に出席できなかったため、不明。
- ・地域と学校との連携について、地域の方々は学校に何かしてあげたいという気持ちがたくさんであります。
- ・いろいろな意見を全員が発言し、熟議ができた。学校運営の基本方針を受けて、子供たちの授業を見ることができた。
- ・学校運営の基本方針として内容を理解し共有できた。本校は、少人数なので先生や地域の目が行き届き、少人数のよさを話すことができた。
- ・少人数であっても、しっかりと基本方針に向かっています。感心しました。
- ・学校長の説明から学校の現状を知り、今を生きる子供たちに必要な資質・能力について理解し、熟議を深めることができた。
- ・学校から詳細で丁寧な方針の説明があり、目標や抱えている課題などについて、理解することができた。意見は発表したが、熟議のレベルまで届いているか大きな自信はない。



⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

【協議会としての評価】 (案)

※学校運営の基本方針（自校の学校教育目標や「育てたい力」等）について、協議した内容を簡潔に評価する。

■少人数の学校の現状、今を生きる子供たちに必要な資質・能力などについて説明を受け、それと学校教育目標「ふるさとを愛し、夢や未来に向かって挑戦する子供」、目指す子供像「自他を大切にする子」・「ねばり強く取り組む子」・「主体的に行動する子」、「10の取組」の関わりや意味合い、また、児童個々の実態を捉えた小規模校ならではの取組について熟議できた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア:よくできた(3) イ:できた(2) ウ:あまりできなかつた(2) エ:できなかつた(0)

(理由)

- ・第1回に出席できなかつたため、不明。
- ・「こんなふうにできるといいね。」と意見を出し合い、付箋紙で表すことができたが、具体的にやれたことが少なかつた。
- ・教育活動についていろいろな意見が出て、子供たちの行事にも反映することができた。
- ・学校、家庭、地域それが実行すべきこと、役割分担が明確になった。運動会が協働し合つて、すばらしくできた。
- ・学校教育目標、目指す子供像を具現化していく上で、少人数児童での学校行事や学校生活の場面において地域でできることについて熟議することができた。
- ・学校行事等において、地域でできることを中心には、アイデアや具体策等について提案し、これから教育計画に資するものが出来たのではないか。



⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかつた エ できなかつた

(理由)

【協議会としての評価】 (案)

※成果・課題等を簡潔に記載する。方法論だけではなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。

■学校教育目標、目指す子供像を具現化していく上で、少人数の課題を捉えながら、また、子供たちの思いや主体性を生かしながら、地域でできる支援の具体について熟議でき、そのいくつかを実施することができた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア:充分に行つた(1) イ:行つた(5) ウ:あまり行わなかつた(2) エ:行わなかつた(0)

(理由)

- ・第2回において、活発な発言が見られた。
- ・協議結果も会議止まりになっていた。周りに発信ができなかつた。
- ・情報発信ができたかと言わると難しいが、よりいろいろな箇所への発信ができればよいと思う。子供たちにはできていた。地域にはどうか。
- ・さくら連絡網や学校ホームページなどにより発信され、学校やP T Aなどと共有した。
- ・自分が関係する自治会やふれあいセンターなどの活動で、意識して学校の様子を伝え、多くの方に地域の一員として学校行事や活動に参加・協力していただけるようにお願いしてきた。
- ・意図的、計画的には行えなかつたが、地域の会合や地元の人たちが集う折に、横山小の現状や教員、子供たちの様子を伝えられたと思う。



⇒ ア 充分に行つた イ 行つた ウ あまり行わなかつた エ 行わなかつた

(理由)

【協議会としての評価】 (案)

※議会での協議結果（会議録への記載内容等）について、どんな方法による情報発信を行つたか、それによってどのような効果があつたのか等を振り返つて記載する。

■学校ホームページに加え、本年度は協議会ごとにコミ・スクだよりを発行し、協議内容をさくら連絡網で保護者にも発信した。ボランティア募集のコミ・スクだよりは自治会回覧も利用し、地域の支援を得ることができた。また、地域の会合では学校の様子伝えたり、学校行事や活動への参加・協力をお願いした。

＜評価項目4＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ・4人の6年生が横山小の卒業でよかったですと思える1年であることに期待します。
- ・来年度で閉校となってしまうことをしっかりと受け止め、今いる子供たちや卒業生たちが悔いのない閉校としたい。
- ・来年度は、閉校に向けても協議会として協力していただけるとよいと思う。
- ・本校最後の学校経営方針や教育課程に基づき、地域の支援として何ができるか熟議する。
- ・閉校を念頭に、本年度の目標を継続する方向でよいと思う。
- ・すでに閉校が公（新聞）になっているので、最後の在校生の1年間の充実と、卒業生、地域の人たちの思い出づくりなど、「横山小学校ここに在りき」を碑文（この石碑は必須と思う）に表したり、心の中に留める（痕跡を残す）ことができるよい。



【協議会としての評価】（案）

- 児童4名に応じた教育課程、閉校を見据えた学校経営を進めるにあたり、子供、学校のために、また地域のためにも何ができるのか熟議する。

(様式 1)

学校番号 (小・中 087)

令和 7 年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立 (横山小) 学校運営協議会長

〈本年度の目標〉

- 過疎化・少子高齢化が進む地域の小規模校において、子供、学校のために、地域が学校支援として何ができるのか熟議する。
- 地域に学ぶ活動における支援のあり方について熟議する。

〈評価項目 1〉 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

少人数の学校の現状、今を生きる子供たちに必要な資質・能力などについて説明を受け、それらと学校教育目標「ふるさとを愛し、夢や未来に向かって 挑戦する子供」、目指す子供像「自他を大切にする子」・「ねばり強く取り組む子」・「主体的に行動する子」、「10の取組」の意味合いや関わり、また、児童個々の実態を捉えた小規模校ならではの学校評価について熟議できた。

〈評価項目 2〉 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

学校教育目標、目指す子供像を具現化していく上で、少人数の課題を捉えながら、また、子供たちの思いや主体性を生かしながら、地域でできる支援について熟議でき、そのいくつかを実施することができた。

〈評価項目 3〉 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

学校ホームページに加え、本年度は協議会ごとにコミ・スクだよりを発行し、協議内容をさくら連絡網で保護者にも発信した。ボランティア募集のコミ・スクだよりは自治会回覧も利用し、地域の支援を得ることができた。また、地域の会合では学校の様子伝えたり、学校行事や活動への参加・協力をお願いした。

〈評価項目 4〉 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- 児童 4 名に応じた教育課程、閉校を見据えた学校経営方針において、子供、学校のために地域が学校支援として何ができるのか熟議する。

令和7年度 夢育やらまいか事業（C S加算分）【実施報告】

■ふるさとに学ぶ活動の推進

6月 田植え体験 ※都合により、「バケツ稻づくり」に取り組みました。



7月 陶芸教室



9月 ボート教室



10月稻刈り体験



11月新米収穫祭



1月太鼓演奏



今後、龍山ふれあい文化祭、
竜川ふれあいセンターまつり
で演奏予定です。



■学習の充実 ～ねばり強く取り組む子～

5月 一輪車教室



7月 水泳教室



【地域ボランティア】

- ・11月27日 郷土資料室の整備



- ・12月12日 図書室整備



【あいさつ運動】

- ・杉の子の日



- ・地域への啓発活動



コミ・スクだより

令和7年5月吉日

No. 1



第1回学校運営協議会の開催

令和7年4月24日木曜日、横山小学校の3階多目的教室にて、午後2時から開催いたしました。春のうららかな陽気の中、委員総数9人のうち7人の出席で、滞りなく熟議をすることができました。



- * 令和7年度会長 青山敏郎さん
- * 令和7年度副会長 溝口 玄さん
- * 第1回協議会議長 溝口 玄さん
- * 協議事項

- (1)学校運営の基本方針・いじめ防止基本方針について
- (2)学校評価アンケート項目について
- (3)学校運営協議会の自己目標について
- (4)夢育やらまいか事業に対する意見書について

各委員の発言より

先生方が考え抜いた基本方針に沿った取り組みは、どれも効果的だと思う。いじめなどは、あつてはならないもので、防止のための冊子など必要なない学校や社会を作つていってもらいたい。

横山小学校は、地域の人たちと距離感が近くて、常に子供たちを見守ってくれている。いじめ防止には、恵まれた環境にあるんじゃないかな。

運動会では、少人数ならではの縦割りグループ分けがされていて、学年分けとは違った行動や責任が育っていくと思う。

「家庭学習カード」の説明があったが、昔の「本読みカード」などとは、違うもの？

主体性を養うために、子供たちが、自分で目標を決め計画を立てて、自分で実践していくことを記入するカードです。

タブレットを自宅へ持ち帰って宿題をするって聞いたけど、インターネットとか見ることはできるの？

学校ではどんな支援が必要か、学校側からいくつか出してくれると熟議しやすいのだけれど。

詳しい支援については、第2回で熟議してもらおうと考えています。地域でできる支援活動を、次回までに考えてきてほしいです。-21-

接続できてしまうので、不正アクセスや情報モラルなどの注意は、常にっています。

コミ・スクだより

令和7年6月吉日

No. 2



第2回学校運営協議会の開催

令和7年6月5日木曜日に第2回の学校運営協議会が開催されました。

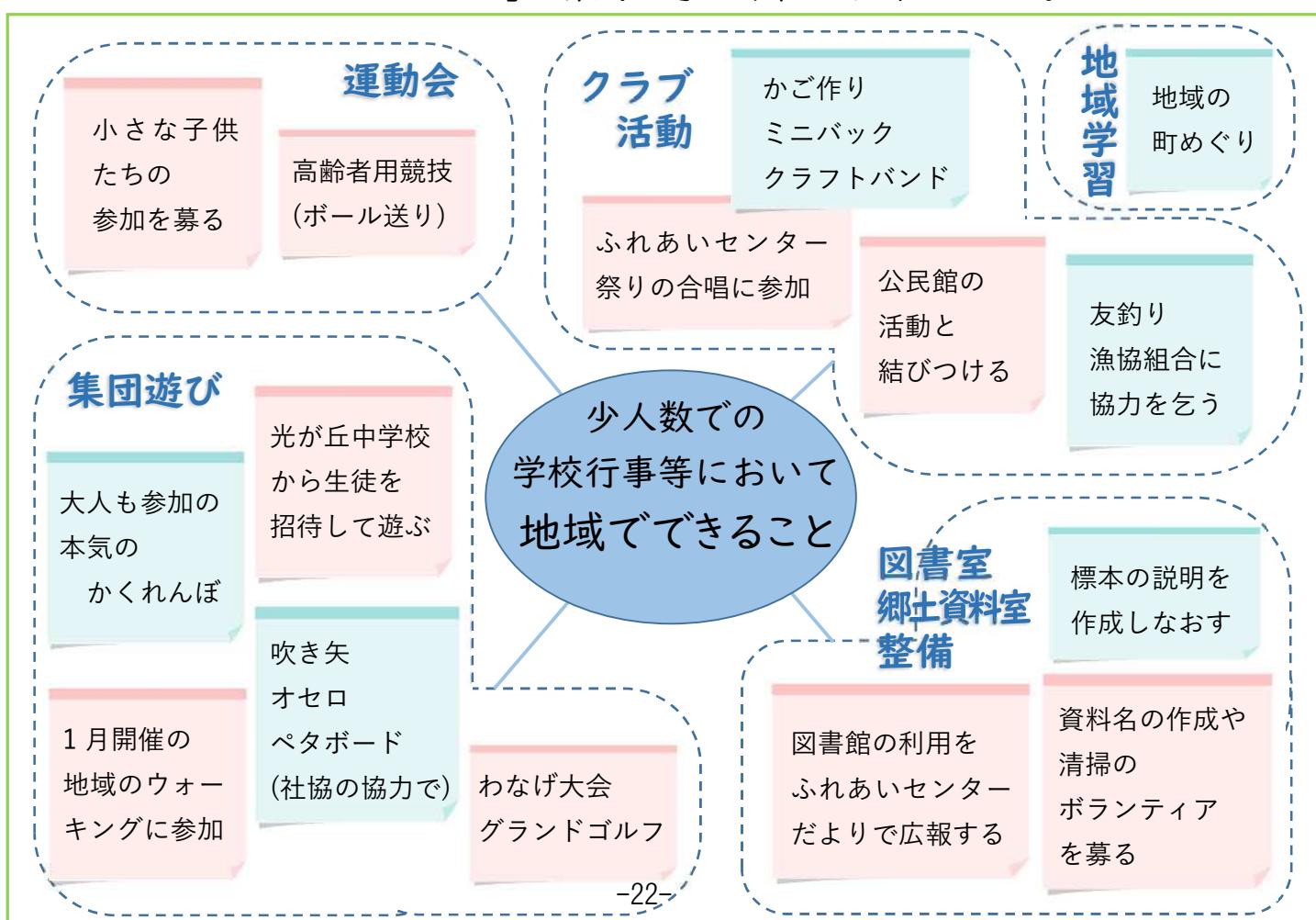
今回は、午前中開催とし、オブザーバーの招待に加え、教職員も初めて熟議へ参加させていただきました。



* 第2回協議会議長 内野 永士さん
* 協議事項

- (1) 運動会や授業参観における子供の様子についての感想や意見
- (2) 学校教育目標、目指す子供像を具現化していく上で、少人数児童での学校行事や学校生活の場面において地域でできること

(2)では、2グループに分かれ、「ウェビングマップ」の作成を通して、案を出し合いました。



回覧

浜松市立横山小学校 学校運営協議会

コミ・スクだより

令和7年7月吉日 No.3



横山小学校を支えてくださる

地域ボランティア募集！

懐かしい地域の資料や図書室の本にふれながら、
おしゃべりしながら、楽しみながら一緒に作業しませんか。

郷土資料室と図書室の
整備をしてくださる方
を募集します

実施時期：10月～11月のうちで2・3回を予定
時 間：13:30～15:30

※詳細は、相談の上決定

郷土資料室

●郷土資料室内の整備

内容 展示用プレートの整備
ガラスケースの掃除
防虫剤の取り換えなど



図書室

●古い資料（本）の廃棄（100冊程度）

内容 廃棄する資料（本）のラベルを外す
本の移動（屋外の倉庫・教室）など



お申し込み方法は裏面へ →

【お申し込みフォーム】

お名前			
連絡先	電話 メールアドレス		
可能な内容に○を付けてください			
	郷土資料室		図書室

◆電話・FAXでのお申し込み

次のQRコードから、上記「お申込みフォーム」をダウンロードしてFAXするか、直接お電話でお申し込みください。

浜松市立横山小学校
TEL : 053-923-0073
FAX:053-923-0082



◆メールでのお申込み

上記「お申込みフォーム」の内容について、次のアドレスまでお送りください。

浜松市立横山小学校代表
yokoyama-e@city.hamamatsu-szo.ed.jp

【問い合わせ先】 浜松市立横山小学校 学校運営協議会
事務局 川村 雄司(教頭)
学校支援コーディネーター 市川 有佳
太田亞希子

電話 : 923-0073 FAX : 923-0082

Mail : yokoyama-e@city.hamamatsu-szo.ed.jp

※ 8/12(火)～8/20(水)は、夏季休業中における学校閉庁日となります。

この案内は 12/22 に、すでにさくら連絡網で送信したものです。

令和 7 年 12 月 22 日

各位

浜松市立横山小学校
校長 長坂 麻里子

学校運営協議会委員研修会（オンライン）の開催について（御案内）

日頃は、浜松市の教育に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、学校運営協議会委員及び来年度新規委員候補となる方等を対象に、下記のとおり研修会を開催いたします。御都合のつく方はぜひ御参加をお願いいたします。

記

1 目 的 学校運営協議会委員のコミュニティ・スクールに対する理解を深め、学校と地域が連携・協働しながら子供たちを育む意識を高める。

2 日 時 令和 8 年 2 月 25 日（水） 午後 2 時から午後 3 時 30 分

3 会 場 浜松市立横山小学校 3 階多目的教室（C S ルーム）

4 方 法 オンライン受講（Zoom によるライブ配信）

5 対象者 学校運営協議会委員・来年度新規委員候補者等

6 内 容

(1) 趣旨説明 浜松市教育委員会 学校・地域連携課 地域連携グループ

(2) 講 話 「学校運営協議会の活用と学校課題の解決」

講 師 文部科学省 C S マイスター、ふくしま学校と地域の未来研究所 安齋 宏之 氏

概 要 ・学校運営協議会の役割と仕組

・学校・地域が協働する取組事例の紹介 等

7 その他の

(1) 出欠については、令和 8 年 1 月 16 日（金）までにさくら連絡網アンケートへの御回答をお願いします。

(2) 駐車については、運動場東側の駐車場を御使用ください。

(3) 筆記用具を御準備ください。

(4) 当日の資料は、会場にてお渡しします。

(5) 本件に関して御不明な点がございましたら、担当まで御連絡ください。

浜松市立横山小学校
担当 教頭 川村雄司
電話 053-923-0073
FAX 053-923-0082